

柏盛クラブとしての代表質問

SDGsの17の目標→

1 貧困をなくそう



① 柏崎市における子どもの貧困に対する受け止めは。

① (市長答弁抜粋) 貧困問題が柏崎市内において大きな課題として捉えられたら、行政として真っ先に取り組みなければならないと考えている。柏崎市内において、貧困により困っている子ども、家庭がどのくらいいるのかつかみ切れていない、そこに苦慮している。課題が明確になって対象となるものがはっきりとするならば公することを施策として取り組んでいく。

② 学力向上推進プロジェクトの目的は。



② (市長答弁抜粋) ありとあらゆる職種に就いてどのような大人になったとしても、他の地域で学んだ子どもたちに負けない、将来、柏崎に戻ってきたり、柏崎で生活し続けるような子どもを育てることが学力向上プロジェクトの一番大きな目的。

4 質の高い教育をみんなに



重野議員の主な一般質問

< 12月定例会議 >

① 医療と福祉と教育の密な関係の在り方を含め、機能不全家族についての柏崎市における見解および今後の方向は。

① (市長答弁抜粋) 子どもたちの学力向上のためにはそれを支える家族および家庭生活の安定が重要と認識している。しかし様々な理由から子どもの養育が十分に行えない家庭があり、学校現場で対応に苦慮していることも事実である。市としてもこのような家庭の支援については学校関係者をはじめ、子ども未来部福祉保健部の関係部署で連携協力して取り組んでいる。子どもの状況を把握し、一つ一つの家庭に寄り添いながら家庭訪問や学校に出向くなどきめ細やかな対応を継続して行い、家庭の安定を図り、何より子どもたちの教育環境の充実に努め、子どもたちの教育環境を落ち着いたものにしていくように、関係部署、県とも連携して進めていきたい。

< 2月定例会議 >



今年1月の高柳小学校の雪



② 地域づくりにおける学校の存在意義についての見解は。

② (市長答弁抜粋) 学校は子どもたちに豊かな学びと成長を保障する場として大切な役割を担っている。学校の教育活動が地域づくりの一翼を担っている側面もあるが、基本的には地域のコミュニティづくりは互助・共助の精神のもと地域住民が主体となって取り組むべきものとする。たとえ統合により学校がなくなっても、地域の大人と子どもと一緒に地域文化や伝統を守り、地域への愛着や誇りを培っていく体制づくりが子どもたちにとっても地域にとっても重要であるとする。



< 重野議員のその他の一般質問 >

- ・子どもたちの学力向上のための学習環境の整備。
- ・新型コロナワクチン未接種者差別の禁止などについての市の見解。
- ・学区等審議会での協議。学校統合後の校舎の利活用。
- ・学校におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の方向性。

重野議員が委員長を務める文教厚生常任委員会では、「子どもを取り巻く環境の充実」をテーマに、特に「子どもの貧困」と「いじめ・不登校」に焦点を当てて調査研究しています。また、手話言語・コミュニケーションに関する条例策定を見据えて、ろうあ者福祉協会などと意見交換し、研究を重ねています。



昨年10月以降もコロナ禍の関係でいくつものイベントが縮小または中止になりましたが、その中でも重野議員は様々な活動を行っていました。



柏崎地域森林組合による市有林の森林管理活動の視察をしました。目の前での伐倒で、木の伐採は命懸けの仕事であることが感じられました。



防災士として、いくつかの小中学校での避難訓練や防災教育に参加しています。「地震」「洪水」「水害」の防災講座の講師を務めることもあります。



リモートなどによる研修会に参加しています。「子どもに関する各種施策の現状と課題」や「人口減少対策と地域活性化の取組み」では、人をつなぐには「子ども」「祭り」「ペット」の存在が重要だという話や、「シビックプライド」「関係人口」の話もあり、大変興味深いものでした。また、「災害支援コーディネーター養成研修」を受講して、防災についての知見を深めました。



近隣の町内会と柏崎小学校と一緒に市へ要望し、通学路の安全確保のため、道路に車のスピードを減速する効果のあるペイントを栄町の道路に施してもらいました。



町内除雪隊で活動しています。昨年今年と町内の除雪作業に少しは貢献できたと思います。



陸上競技協会会員として陸上大会や柏崎マラソンの役員をしています。写真はゴールの瞬間を判定する写真判定機の画面です。

